

平成30年度第2回 「大村知事と語る会」

〔テーマ〕

山から街まで緑豊かな愛知の実現～全国植樹祭を契機に～

—健全で活力のある「森林^{もり}づくり」を進めよう！—

平成30年10月5日(金)
愛知県庁本庁舎 正庁

○ 愛知県の森林の現状

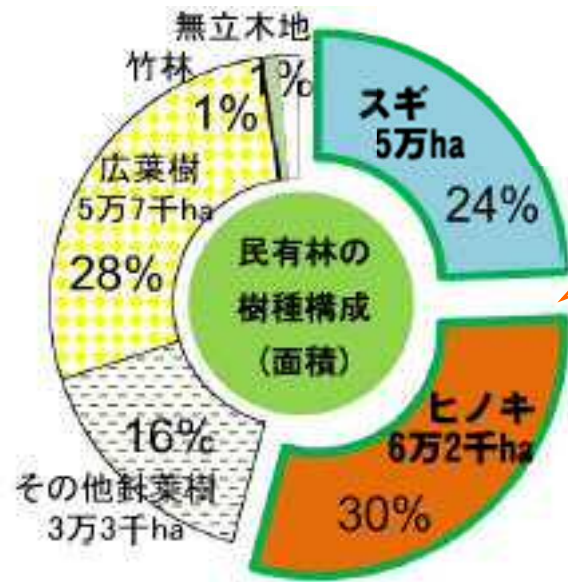
～「愛知の森林づくり」から
(2017年 愛知県農林水産部)～

1. 愛知県の約4割が森林

森林の割合は42%
三河山間地域に集中している



2. スギ林・ヒノキ林が5割超え



- ・スギ林、ヒノキ林が54%
広葉樹林は28%
- ・人工林率64%

・まっすぐ育ち、成長が早いスギやヒノキは、古くから建築用材として利用され、植林が進んだ。
・一方、広葉樹林は、放置された都市近郊林や里山林に多く、宅地開発等により減少が続く。

○ 愛知県の主な取組

- 「食と緑の基本計画2020」を策定(平成28年3月)
⇒ 12項目の重点プロジェクト

緑豊かなあいちづくりプロジェクト

～ 森林・里山林・都市の緑を健全な状態で次世代に引き継ぎます ～

イメージ図



主な取組内容

【全国植樹祭に向けた県民運動の展開】

- ・ 森と緑づくりの発信や関連行事の開催

【多様な森林づくりの推進】

- ・ 間伐の推進や針広混交林等への誘導
- ・ 森林の若返りや獣害防止対策の強化

【県民参加による森と緑づくりの推進】

- ・ NPO 等と協働した海上の森の保全と活用
- ・ 企業や地域住民との協働による森林整備

【都市の緑の保全、創出】

- ・ 都市部における緑化推進と既存樹林の保全

— 第70回全国植樹祭あいち2019 —

開催理念

私たちは、「木材の利用」を^{やま}山村と^{まち}都市をつなぐ架け橋とし、健全で
活力のある「^{もり}森林づくり」と「^{まち}都市づくり」を進めていきます。

大会テーマ

「木に託す もり・まち・人の あす・未来」



マスコットキャラクター
「森ずきんちゃん」

- 開催日：2019年6月2日(日)
- 会場：[式典]愛知県森林公園(尾張旭市、名古屋市)
[植樹]愛知県森林公園、愛知県昭和の森(豊田市)
愛知県森林・林業技術センター(新城市)
[サテライト]オアシス21(名古屋市)、豊橋総合動植物公園(豊橋市)
- 行事内容：天皇皇后両陛下御臨席のもと「お手植え・
お手播き」、招待者による記念植樹等
- イメージソング：「と・も・に」(制作：岡村孝子氏)
- PR隊：チーム森ずきん
〔 隊長：森ずきんちゃん
メンバー：SKE48 〕



〔 全国植樹祭シンボル
「木製地球儀」リレーの様子 〕

— あいち森と緑づくり事業 —

■ 平成21年4月に『あいち森と緑づくり税』を導入



■ 手入れが届かない人工林の間伐
放置された里山林の整備・保全
都市部における緑地の保全・創出

などへの
取組



山から街まで緑豊かな
愛知の実現

里山林の保全

市町村と地域住民・NPO等との協働による里山林の保全活用のモデル的取組を支援
放置された里山林の再生・健全化のための整備を実施



森林の整備（人工林の間伐）

林道等から遠く離れている『奥地』や、交通量が多い、電線がある、アクセスが困難等の理由から作業性が悪い『公道・河川沿い等』の人工林は、間伐に要する経費が割高となり、森林所有者が林業活動で整備するのが困難であるため、県が森林所有者に代わって間伐を実施

整備対象森林
森林所有者が林業活動により整備



都市緑化の推進

都市部に残る貴重な緑地の保全、新たな緑地の創出、民有地緑化の助成、並木道の再生、県民参加による植栽体験や勉強会など様々な取組を実施



環境活動・学習推進

NPOや市町村等が行う環境保全活動・環境学習等を支援



普及啓発

森林整備の意義や木材利用の効果等について普及啓発
愛知県産木材の利活用の促進





御清聴ありがとうございました